

幼児の健康保育（八）

お茶の水女子大學助教授
愛育研究所員教授

平井信義

或る年、或る幼稚園で経験したお話をしましよう。それも丁度寒い十二月のこととて、私はその頃になるといつもこの出来ごとを思い出すのです。

そのお話をいうのは、朝の出勤が遅くなつた幼稚園の先生のお話です。秋頃までは、必ず子供たちより早く来て、すつかり窓を開け放ち、月曜日の朝などは壁の積つた臺をふいて花瓶には花を挿し、一と廻り保育室を見廻してから……、いよいよその日の保育案に沿つて、東の隅には積木を並べ、南の机には畫用紙とクレイヨンを揃え、ピアノにはやさしい音譜をおいて……、と甲斐々しく働いている様子を見て、私は子供たちのために、頭を下げていました。

子供たちを迎えるその晴々しい顔と、すがすがしい聲は保育室いっぱいに擴り、子供たちの顔もからだもはづんだ様に飛び上ります。「おはよう、清ちゃん」そう云いながら、すばやく清ちゃんの顔、からだ、手、足と見廻し視診をはこび

ながら「さあ、お手を洗つてうがいをするのでしたね」と促す様子は、涙の出るほどうれしいものでした。

その先生は、私がしばらく旅行して歸つてみると、朝八時半になるのにまだ來てない、子供たちが二・三人、バランスケットを手にしたまま所在なさそうに戸口のところに立つてゐる、——迎えるものがいないので。朝の先生の顔が見えないので。三人・四人と子供がふえて來る頃になつて、漸くその先生がやつて來ました。「先生、おはよう」子供たちが挨拶をするのに、小さな聲で答えて保育室の戸を開きます。中はむれくさい。先生はあわてゝ窓を開け様としますが、ところどころ引懸かつてなかなかあかないので、焦々した様に音を立てゝいます。私は彼女に知れぬ様に見ていたのですが、この變り様にはびっくりしてしまいました。

どうしたのだろうか、何か家庭にごたごたがあつたのか、思想的な悩みにぶつかつているのだろうか、或いは戀愛か、

或いは體が悪いのでは。私は……彼女の健康状態をきいてみました。すると「近頃疲れて朝がなかなか起きられない」というのです。夜更しの朝寝坊もありましょ。運動がきつくて起きられないこともあります。然しこの先生の場合は「たいぎ」だつたのです。早速私は病院のレントゲン臺に連れて行きました。悲しい哉！豫想は適中して、右の肺の上方に浸潤が見つかりました。矢張、肺浸潤が始つたところだつたのです。

冬になるといつもこの先生の顔を思いだします。そして、幼稚園の先生方がどなたも、いつもいつも健康であつて、子供たちのために生き生きとした保育をして下さることを、毎日祈らずにはいられません。

七 豫防注射とその意味

子供たちの幸福を願つている医者——、それは早く癒す医者或いは命を助ける医者よりも、子供たちを病氣にかけない様に注意する医者であると信じます。世の中には、病氣されなければ医者にかかる必要はない、と考えている人が澤山います。うちの子供は一回も医者にかかつたことがない、と得意になつておるお母さんもあります。そのこと自體は祝福すべきでしようが、その考え方は困つたものです。

アメリカでは医者が扱う子供の五〇%以上が健康相談であるということです。十人の診察をすれば五人が健康なる子供であり、往診といえば同様に育て方或いは現在の健康につい

ての相談であるのです。アメリカは子供の死亡率の最も少い國です。文化が進むとこの様に豫防醫學に力を注がれるのであります。病氣にかけない様に——何と有難いことでありますか、何とうれしいことでしようか、病氣を癒すことが上手な医者がどんなに多くても、子供を病氣にしたときの心配と経費とは莫大なものです。誰だつて子供を病氣にして、病氣ないでしよう。私共医者も病氣を癒す医者を廢業して、病氣にかけない医者に早く轉向したいのです。病氣がなくなつたら失業だらうと心配する方もありますが、心配御無用、人體の秘密は無盡蔵であります。それを解く鍵を作るために、澤山の医者が必要なのです。病人にかける費用で、結構私共を備つてくれる研究所が出來てしまふことでしよう。兎に角、子供の本當の幸せを考えましょ。病氣にかけない様に努力しておきましょ。

それにはいろいろありますが、傳染病に對してはいろいろ豫防注射があります。これからそのお話をいたしましょ。それらの中子供にとって大切な豫防法は、天然痘には種痘結核にはB・C・G、麻疹には人血清、ジフテリアにはアブトキシン、百日咳にはワクチンがあります。之らは既に一昨年、豫防接種法という法律が議論を通過してどの子供も注射をうけなければならなかつた筈です。そして之らの接種を受けないと、罰金ということまで決つたのです。「之で私たち『病氣にかけない医者』が毎日々々口を酸づばくして豫防注射を説かなくともよくなつた」と喜び合いました。處が不幸

なことに、そのすぐあとに、ジフテリア注射液による大惨害が起きたのであります。皆さんも御存じでしよう、ジフテリアの豫防注射をうけた子供が、澤山死亡するという事件が持上つたのであります。死なないまでも注射をうけた部分が大きくなり落ちてしまつたという子供も、數百名に上ります。大惨な事件です。この種の事件で世界的に有名なのはドイツにおきたB・C・Gによる大惨害であります。之もB・C・Gを内服した子供が、矢張百名近く結核になつてしまつたという事件であります。

こんなことがあれば、豫防注射を誰もするものはありません。したがるものではありません。遂に、するのはおよしなさい、といふふらすのであります。人々が云いふらすまでに政府ではその注射液の使用を禁止しました。G・H・Qの人達まで大惨に心配して下さつて、兎に角、總ての豫防注射を安心して使えるまでは、嚴重な検査をうけなければ、注射液を賣出することが出来ない様になつたのです。この様なわけで總て再出發、一間違ひのない薬が出来る迄に二年を経て、漸くこの頃市販される様になりました。

この様なわけで、前に決つた豫防接種法という法律は二年の間、有名無實であります。然し昨今、薬が整備されるや再びこの法律が云われ始めました。保健所が私共の健康を管理するセンターでありますから、保健所から通知されて、保健所でこれを受ける形となります。ところが、保健所は今お医者が少く、結核や性病の対策だけでも手一杯のところが多

いときます。なかなか子供の健康には手が届かない、というのが實際でしよう。近い将来必ずこれらの豫防接種は、すべて、誰も、保健所で行われるということになります。保健所のお医者が不親切だ、ということをきりますが、本當なら殘念なこと、恐らく忙しいためでしよう。税金を拂わない人がなくなり、保健所に澤山のお金が廻され、そこによいお医者が集まれば、親切に答えてくれる暇も出来ることでしよう。

之らの豫防接種法がきまつたのは、誰もが之らのよいことを認めたからであります。この豫防接種法があるために、澤山な人が、澤山な子供がいろいろな病氣から護ることが出来る、という科學的な事實が證明されたからであります。今日、之に逆らうことをいう人は、文化に逆行する人であり、子供たちの幸福を眞に考えない人であります。

幼稚園などで豫防注射を行わうとする、何でも毛嫌いをするお母さんがあります。そして驚いたことには、その押しをお医者がしていることがしばしば見受けられます。例えばB・C・Gをすると結核になるぞ、というが如きであります。成程、ドイツでは不幸な事件が起きましたけれど、それは何かの手違いで、B・C・Gそのものには何も悪いことがなかつたのであります。我が國のジフテリア豫防液も、検査さえしつかりしていれば、決して起らなかつた事件であります。

豫防注射をすると熱が出て子供の氣嫌が悪い、B・C・Gはあとがつく、という非難を浴びせることがあります。之は事實です、こうしたことのない様に、注射が改良されることには努力しなければなりません、然しそれだからといって、注射をしないのは、全く馬鹿氣であります。病氣にかけて二十日も一ヶ月も子供を苦しめることを考えれば、忽ち解決のつく問題にしよう。病氣にしないための親心なのであります。陽テフスの豫防注射が今年も行われましたが、六十三歳になるお年寄がそれを受けに保健所へいきましたが、六十歳以上は不要だといわれ、年寄のいのちを粗末にするか！と怒つたということですが、之でこそ文化國家にふさわしいご老人といえましょ。豫防注射を早くして下さい」と催促する様になりたいものです。私共の幼稚園のお母さんたちは非常に熱心であり、園醫がたちたちすることがあります。

こんなことを私がくどく申上げたわけは、豫防注射を切角幼稚園でなさるうと先生方がご努力なさると、それに反対する親たちが少くない、という聲をききますし、私共も以前澤山経験いたしましたので、先生方がご説明になるのに多少とも参考にならうかと、お話をかけであります。又、切角注射をなさつても、あとでいろいろ文句をつけに来る親があります。文句をいう親は大概まつている様ですが、先生もその應接にはずい分不愉快なことがあるでしょ。しかし、つきりした知識がないと、親にまくしてられて、しょんぼりしてしまい、もう豫防注射などしまい、と思つてしまふ方

もありましょ。それでは困ります。先生方の手で、豫防接種の意味が、お母さんたちにわかつてもらえることも、望まれてならないのです。先生方も、子供の健康を護る大切な方々であることをも、併せて自覺していくべきたかつたのです。

さて、一つ一つの豫防接種について申上げましょ。

第一に種痘であります。この意味は知らない人はありますまい。反対する人もないでしょ。然し今から百五十年前ジエンナーが之をはじめて唱えたときは、大變な反対であつたことが傳えられています。定期の種痘は、以前は二回ありましたが、今度は三回で、學校にトる前半年の間にもう一度することになりました。そのわけは、赤ちゃんのときにつきりでは、中にその効力が消えてしまう人があることがわかつたからです。幼稚園一年保育の子供には、恐らく保健所から通知が來ることと思ひます。

種痘のやり方も多少變つたことに氣付いている方もあります。×點をつける代りに針の先で何回もつゝいたりこすつたりするやり方であります。どちらでも差支えないのですが、新らしい方法はアメリカの人々に教えられたのです。もう一つ變つたことは證明書です。以前はなかなか重々しい紙を使って、誓願二顆などと書き、佛壇などえ貴重品の様にしまわっていましたが、この頃の紙は小さく全くお粗末であります。誓いてあることも、完全痘瘡・不完全痘瘡、或いは免

疫反応など、ついたのだが、つかないのだがわからんことを書いてあります。完全痘疱も不完全痘疱もついたことがあります。免疫反応とは、つかないが、まだ體の中には抵抗があることを云います。陰性だけはやり直しの必要があります。種痘はつけば一週間自位にその場處がはれて膿疱が出来、熱が出るのが普通です。そしてあとを残して癒ります。このあとが殘るのは、美人を作るためには非常に殘念なことですので、殊に女兒は、將來見えないとこにしてやりたいと思します。大腿部（太股）がよいと思しますが、もう十年もしてニユーファッションが流行り、そこを出して歩くことになります。驚いたことには、この二・三年、お膚を出すのが流行だそうです。こうなるとどこで植えたらよいか、まことに困りますが、目立たぬところに植える心遣いはしたいものであります。

第一に B・C・G のお話です。この英語の意味を知らない方もありますので説明しますと、實は英語でなくフランス語であります。その B は Bacille (セラ菌) C は Calmette といふ人の頭字、G は Guérin といふ人の頭字、即ちカルメット氏とゲラン氏とこうハシヌの學者の發見したばら菌とこう意味です。

之は牛を侵す結核菌——牛型菌と云ますが、その結核菌から作つたものです。牛型菌は人間にも害があります。歐米

では牛の結核が多いために、その牛乳をのむ人が陽結核になると云います。完全痘疱も不完全痘疱もついたことがあります。免疫反応とは、つかないが、まだ體の中には抵抗があることを云います。陰性だけはやり直しの必要があります。種痘はつけば一週間自位にその場處がはれて膿疱が出来、熱が出るのが普通です。そしてあとを残して癒ります。このあとが殘るのは、美人を作るためには非常に殘念なことですので、殊に女兒は、將來見えないとこにしてやりたいと思します。大腿部（太股）がよいと思しますが、もう十年もしてニユーファッションが流行り、そこを出して歩くことになります。驚いたことには、この二・三年、お膚を出すのが流行だそうです。こうなるとどこで植えたらよいか、まことに困りますが、目立たぬところに植える心遣いはしたいものであります。

即ち B・C・G とは生きた結核菌です。然し全く無毒・無害であります。注射しても熱一つ出ません。自覺症狀も殆どありません。たゞ惜しむらくは種痘と同じ様にあとが殘ること、その跡も三月も半年もぐぢや／＼してから出来て、その間、感じが悪いのが缺點であります。然しその爲に特にどうの、とこうことはありません。長くつゞく潰瘍だけが問題であります。従つて種痘と同じ様に、植えの場處さえ注意してやれば、何ら差支えないのです。種痘は赤ちゃんのとき注意して、もしにしたのに、幼稚園で勝手に腕に B・C・G をして、跡がのこつた、と文句をいわれるのも不快ですし、又實際將來美人になるべき女の子には可哀そうです。場處を選ひましょう。潰瘍が出来たらマーキロをぬり、その上に軟膏をつけガーゼをベンソーオードにておいて下さい。然し、これだけで結核が相當豫防出来れば、こんなに有難いことはな

いじょう

但しこの効力は、體一ヶ年であります。それも個人的に相
當差が認められます。二年間も残つてゐる子供もありますが
最初一回では免疫の出来ない子供もあります。それは注射し
てから二ヶ月をすぎれば、免疫の出来たものはツルベクリン
反應が陽性になるのでわかります。その頃になつてツルベク
リンが陽性にならない者は、もう一度しなければなりません。
そして二ヶ月して又ツベルクリン反應をする。陰性ならば又
B・C・Gをする、といつた具合に、ツベルクリン反應が陽
性になるまで、之を行ひます。何回しても差支えありません。
回を重ねるにつれて強い免疫が出来る様になります。然し平
均してみると、約一年で免疫が弱くなる子供が多いのです。
一年に一回するわけであります。

云われたわけです。
私は生れてすぐの赤ちゃんから植えています。身近に結核のある人は、赤ちゃんのときから注射して下さいと申込んで来ます。だんだんお母さんの方も、しつかりして来て下さいと月一回の注射日には満員の盛況です。こわがつたり、けちをつけたり、勿體ぶつていてるお母さんに、是非目ざめる様幼稚園・保育所の先生方に、努力していくべきたいものと願つて居ります。

學生募集